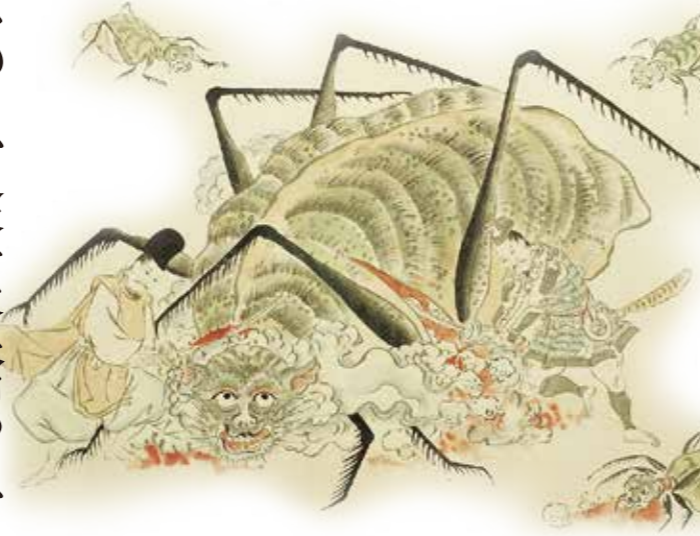


民俗学 コース

古代の日本人は、都市の外に鬼たちがうろついていると考えていました。平安京の北の端にあたり、北山から水流が流れ込む一条戻橋は、鬼たちが水にまぎれて侵入してくる危険な場所だったので。古地図を見ると、この橋のすぐ南東に妖怪退治で有名な源頼光の家が見えます。さらに数軒、南東に進めば、陰陽師の安倍晴明の家が見えます。時の政権は、武力と呪術の両方でこの地を守っていたことがわかります。また、戻橋から少し北の上ると白峯神社が見えてきます。この神社には保元の乱で敗れた崇徳院が祀られています。崇徳院は天皇家に呪いをかけて亡くなりましたが、その呪いを解くために明明天皇が崇徳院を神として祀り、例の水流の上に置いて北からの鬼の侵入を阻止しようとしたのです。このように近代にいたっても京都には魔物が潜んでいると考えられていたのです。京都のまちに飛び出すフィールドワークで、こうした歴史と人々の心に触れ、日本人が大切にしてきた価値を学んでほしいと思います。

京都・一条戻橋。平安時代、そこには鬼が跋扈していた!?



国際日本文化研究センター所蔵「土蜘蛛草紙」下巻 部分



歴史文化学科 佐々木 高弘教授



佐々木教授の著書「京都妖怪案内」

神話・伝説・昔話で描かれる場所表現を民俗学・歴史学・地理学の観点から研究。担当科目は「歴史地理学」「妖怪文化論」など。

フィールドワークや各種企画展を豊富に開催。「楽しく学ぶ民俗学」がキーワードです。

例えば、教員の解説のもと、百鬼夜行が通った道を実際に歩きながら京都のまちを学ぶフィールドワークなど、本学科ならではのユニークな学習機会を豊富に設けています。また、博物館での「妖怪」に関する企画展なども積極的に開催しています。



国立国会図書館所蔵「百鬼夜行絵巻」 日本の妖怪文化をとらえ、そこに垣間見える歴史を掘り下げて学びます。



地形図やカメラを用意して百鬼夜行の道程をたどり歩く実習を実施。



京都の人が大切にしてきた行事などを体感して学べる環境が魅力です。

京都学園大学 ニュースレター

多彩なフィールドワークを 京都で実施。

政治史・経済史、伝統芸能や食文化、古典文学も。

文献中心の歴史学と、民話・伝承を研究する 歴史民俗学の両方を学習。

社会・地理歴史の教員免許と博物館学芸員資格が取得可能。

【取得できる資格】 * 国家資格 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 中学校教諭一種免許状(社会) 小学校教諭一種免許状(注) 博物館学芸員* (注) 小学校の教員免許を取得する人には、他大学との協定による通信教育プログラムが用意されています。ただし、この履修は中学校の教員免許を取得する人に限られます。



京都のまちが、生きた教科書。

京都学園大学 KYOTO GAKUEN UNIVERSITY

http://www.kyotogakuen.ac.jp/ 【入試に関するお問い合わせ先】入学センター TEL 0771-29-2222 E-mail nyushi@kyotogakuen.ac.jp 〒615-8577 京都市右京区山ノ内五反田町18番地 TEL 075-406-7000(代表)

歴史文化学科の授業は2015年開設の京都太秦キャンパスで開講されます。



Table showing train routes and travel times from various stations (Kyoto, Osaka, etc.) to the Uzumasa Campus.

人文学部 歴史文化学科

京都太秦 キャンパス

歴史学
コース

昔の人々の姿をとらえ、
今を生きる私たち自身を見つめ直す。

800年前の鎌倉時代を考えてみましょう。社会には身分制が敷かれ、貴族や武士もいれば奴隷もいました。宗教の役割はきわめて大きく、国の平和と繁栄のために様々な祈祷が行われ、その祈りに莫大な財政が投入されました。ひと言でいえば「変な社会」です。その奇妙さは誰もが簡単にみとることができるのです。

では、800年先の未来から現代を見てみるとどうでしょう。彼らも現代の奇妙さを簡単に見抜くはず。今の社会は当たりの前の世界でしょうか。私たちは「国家」「民族」「マネー」といったしがらみにとらわれてはいないでしょうか。

昔の人々や社会の姿を知り、ひるがえって私たち自身を見つめ直す、それこそが歴史を学ぶおもしろさです。当たり前と考えられていることは本当に当たり前なのか、現代の常識を疑い、社会が抱えている問題の本質をとらえる目を養うことができるのです。



古文書を丁寧に読み、昔の人の行動や考えていたことなどを考察します。

鎌倉時代は「変な社会」では、
800年先の未来から今を見れば!?

暗記ではなく、調べ、考える学問。
ビジネスにも活かせる思考力を磨こう。

私は親鸞を切り口に、中世という時代を研究しています。中世は極端なまでの「小さな政府」の時代です。弱肉強食のなか、誰もが生き残ることに懸命でした。格差は自分の責任とされ、皆がバラバラに生きていました。そのなかで親鸞は人の平等を説き、力をあわせてともに生きることを訴えました。親鸞のその声は、今の私たちにも大きな意味を持っていると思います。

歴史を学ぶきっかけは親鸞でも戦国大名でも明治維新でも何でも構いません。関心あることを突き詰めるなかで、さまざまな発見を楽しんでください。歴史といえば「暗記」と思われがちですが、大学での歴史の学びは「調べる学問」であり「考える学問」です。徹底して調べ、分析して考察を深めます。日本の歴史のまんなかにあつた京都のまちにも積極的に飛び出して、これからの人生に活かせる「調べる力」「考える力」を身につけてください。



歴史文化学科 平 雅行教授

宗教を切り口にして、日本の中世社会の特質の解明をめざす。専門分野は日本中世史、古代中世仏教史。

平教授の著書
『歴史のなかに見る親鸞』
(法蔵館)

慈円への入室、六角堂参籠、玉日姫との婚姻説、善鸞義絶事件……。数々の伝承と研究が存在する親鸞の生涯と思想について、歴史学の立場からその虚実を再検証する。



京都文化
コース

『枕草子』に登場する中宮定子は、女性ながらに漢文が読める知的なお后でした。しかし、一家が没落して彼女も24歳で亡くなってしまい、世間には「才女は凶事のもと」という迷信が蔓延したのです。中宮定子に仕え、漢文を読むことができた清少納言も職場を失いました。同時期に生きていた紫式部も、そうした逆風のなかで『源氏物語』を完成させました。清少納言も紫式部も自分たちの愛するものを守られず、そうした自分たちに誇りを持っていたと私は思います。そこには歴史上の偉人の人間的な側面が垣間見えないでしょうか。

先人たちの心に触れ、その経験をわがものにするのが歴史文化の学びの魅力。平安時代の紫式部に、また幕末の志士たちになりきって、心を重ねてみてください。そうした学びを通して歴史のおもしろさを体感するとともに、今の社会が直面する問題にも柔軟に対応できる知性と、これからの時代を生きるための強い心を身につけてほしいと思います。

平安時代のジェンダー問題。
漢文の才能をとがめられた才女たち。



歴史文化学科
山本 淳子教授



山本教授の著書
『平安人の心で「源氏物語」を読む』
平安朝文学の研究者。「源氏物語の時代」でサントリー学芸賞受賞。著書多数。担当科目は「日本文化論」「王朝文化論」「京都文化概論」など。

京都の年中行事やものづくりの現場を訪問・体験し、心の文化にアプローチします。

京都で育まれた文化は、今にどのような形で息づいているのか。例えば、京都の台所・錦小路を歩いたり、伝統的なものづくりの現場に赴いたり、実践的に学びます。また、本学科では京町家の保存や保津川の環境保持といった地域貢献活動も活発です。



平安宮大内裏(官公庁役所群)などをめぐる「フィールドワーク京都」。



藤原定家が小倉百人一首を編纂した小倉山の麓・嵐山にある博物館へ。



錦小路から新町通を北にあがった京町家での様子。

2015 OPEN CAMPUS
日本史オタクも
サブカル好きも
大歓迎!
オープンキャンパスで
歴史文化学科の体験セミナーを受けてみよう!

5/24(日)
絵から読み解く
中世民衆

日本の中世は私たちにとって「変な社会」。今の社会とどのように違っていた?

6/14(日)
本能寺と信長

明智光秀に討たれた時、なぜ信長は他の寺院や二条城でなく本能寺に宿泊していた?

7/12(日)
忍者っているの?
他

京都太秦キャンパスから近い太秦映画村でも活躍している忍者のリアルな姿を学ぶ。

8/1(土)
人気妖怪アニメの
民俗学

ゲームやアニメで流行している「妖怪ウォッチ」を民俗学の観点から分析する。

8/2(日)
平安文化から読む
『源氏物語』
他

『源氏物語』の名場面の一つ「猫事件」を、平安貴族文化の視点から解き明かす。

8/22(土)
古文書のなかの
新選組
他

150年前の京都の町を駆け抜けていた新選組のリアルな姿を古文書の中に覗く。

8/23(日)
ちょっと恐〜い
魔女のお話
他

西洋中世・近世の魔女裁判について、映像を用いつつ分かりやすく解説する。

9/13(日)
レシートから読み解く
<歴史>
他

歴史を学ぶ際に重要な(史料)とは? 財布の中のレシートから歴史を読み解く。

11/1(日)
武士と京都

深くつながっている京都と武士との関係を、主に文化の観点から明らかに。